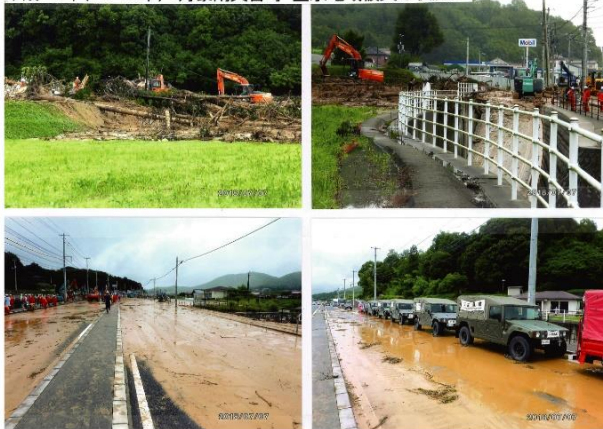


我が家の防災マップ 2021

教訓「2018年7月豪雨災害から学ぶ」

避難行動を「わがこと」に
あなたの避難が みんなの命を救う

平成30年(2018年)7月豪雨災害時 三永地域被災の状況



三永まちづくり協議会

2021年(令和3年)6月

我が家の防災マップ2021「2018年7月豪雨災害から学ぶ」

2018年7月豪雨災害では、東広島市内は記録的な豪雨に見舞われました。(西条町三永地域では7月5日9時～8日10時までの累計雨量452mm、7月6日19時～21時と7月7日4時～6時までの累計雨量147mm、7月6日6時～7日6時までの24時間雨量253mm【下三永雨量観測局】)。

三永地域も大規模な土石流が数多く発生し、その1カ所では3名もの尊い命が奪われました。家屋やインフラの損害など、甚大な被害となり、1945年(昭和20年)9月17日の枕崎台風以後の最大級の被害となりました。

この豪雨災害から2年後の2020年(令和2年)2月6日、広島県主催の「三永地域土砂災害警戒区域等の指定見直し」の説明会で、三永地域土砂災害ハザードマップ見直しの説明を受けました。

そのため、新しい地域土砂災害ハザードマップ情報と2018年7月豪雨により起こった三永地域の被害状況を記録に残して、教訓「2018年7月豪雨災害から学ぶ」として今後に生かし、二度とこのような痛ましい惨事を繰り返さないためこの冊子を作成しました。

2016年(平成28年)7月、各世帯配布「我が家の防災マップ」「災害から命を守る避難方法」に、この度の「我が家の防災マップ2021」を加えていただき、今後起こり得る災害の備えとしてご活用ください。

2021年(令和3年)6月

三永まちづくり協議会

豪雨災害から学ぶ

・大規模土石流の発生メカニズム

花崗岩層の上にたまった表土の土壌は、豪雨により雨水が浸透して大量に泥土化し、表層崩壊を起こして、土石流として滑り落ちる。

広島県の調査では、本頭川では土石流土砂推定量8,000㎡が発生、大宮川では土石流土砂推定量3,600㎡が発生しました。この地区は赤松樹が枯れた後に、広葉樹のコナラやクスギや植林樹であるスギやヒノキで覆われており、この根が届かない巨岩のある層は崩れやすく、7月6日夜半と7月7日早朝の記録的な降雨により、地盤が持ちこたえられなくなり想定外の大規模な土砂流が発生したと思われます。

記録的豪雨ドキュメント

東広島市安芸津町【津雨観測局】東広島市内最大

累計雨 月5 9時～8 18時 521mm

最大時間雨 月6 20時～6 21時 6mm

2時間雨 月6 時～ 時 318mm

永地域の雨【下永雨観測局】より

累計雨 月5 9時～ 月8 10時 52mm

※7月6日19時～21時45mm+37mm=77mm、7月7日AM4時～AM6時45mm+37mm=77mm

・東広島市 予警報の状況、災害対応の体制、避難情報等

2018年7月6日 17:50 土砂災害警戒情報発令

18:50 東広島市全域 避難勧告

19:40 大雨特別警報 発表

19:45 東広島市全域 避難指示

20:00 広島県が陸上自衛隊に災害派遣要請

2018年7月7日 9:00 広島県内の被災自治体への緊急消防援助隊派遣

10:50 大雨特別警報解除、警報に切替え

自衛隊、緊急消防援助隊到着(三永地域本頭区内にも)

2020年10月時点での避難情報発令対象戸数(東広島市による世帯数等調査より)

上 永区域 161戸 下 永区域 05戸

2018年 月豪雨災害では、永地域内には延べ31名のボランティア活動のご支援をいただきました。

過去の大規模土石流の記録

枕崎台風195年(昭和20年)9月1～9月18 (広島県内の死亡行方不明者2012名)広島県内最低気圧961hpa 最大風速30.2m/s 最大瞬間風速53m/s 期間最大降水221.8mm 最大1時間降水51mm 永地域内では、下永吉光区内比治ヶ谷川で大規模土石流が発生し、1戸が被災したとの話が伝えられています。

三永地域の指定避難所

施設名	所在地	電話番号	地震	土砂災害・洪水	AED 設置の有無	給水施設の有無
三永地域センター	西条町下三永 10927-1	082-426-0741	可	可	有	無
三永小学校	西条町下三永 10929-2	082-426-0005	可	否	有	有

避難時に知っておきたい設置物

① 避難所以外の AED 設置施設

施設名	所在地	電話番号
山陽新幹線 東広島駅	三永一丁目4番24号	広島コールセンター 0570-666-053
総合警備保障 東広島支社	西条町下三永 245-11	(代)082-420-0100

② 公衆電話所在施設(6カ所)

山陽新幹線東広島駅構内(2台)・構外(1台)・ワコー東広島店駐車場内・三永水源地正門北側

・国道2号線(下線)(田万里境付近)

●参考資料

東日本大震災被災者に聞いた、安否の確認方法 (NTT タウンページより)

・携帯電話の接続は、東北同士ではなかなかつながらなかったが、東京都とは比較的つながりやすかったの
で、東北に住む家族・親戚とのやりとりは、東京にいる娘を経由して行った。

・自宅とは一切連絡が取れず、3日後、なんとか帰宅して初めて安否が確認できた。公衆電話は有効なので、場所を確認しておくべきだった。災害伝言ダイヤルは有効だが、双方が熟知していないと活用できないと思った。

・電話よりネット環境がつながりやすかった。メールや電話でひとりひとりにおくるより、SNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)系に書き込めばみんなが見られるし伝えてもらえると思う。

我が家の防災メモ

災害の種類	危険箇所	避難場所	避難上の危険な場所
土砂災害	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし		
洪水	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし		

家族の名前	連絡先	電話番号

平成30年7月豪雨について（広島県東広島市）

【東広島市の気象状況】

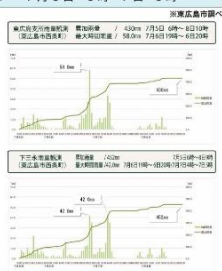
平成30年7月5日（早い地域では3日）から降り続いた雨は、多い所で累加雨量521ミリに到達するなど、市内各地で観測史上初となる記録的な豪雨となった。

【三津雨量観測局】（東広島市安芸津町）

累加雨量	521.0 mm	7月5日	9時～8日19時
最大時間雨量	67.0 mm	7月6日	20時～6日21時
24時間雨量	318.0 mm	7月6日	7時～7日7時

【下三永雨量観測局】（東広島市西条町下三永）

累加雨量	452.0 mm	7月5日	9時～8日10時
最大時間雨量	77.0 mm	(1) 7月6日	19時～6日21時
	77.0 mm	(2) 7月7日	4時～6時
24時間雨量	253.0 mm	7月6日	6時～7日6時



100年に1度の降雨の時雨量（広島地区・24時間）は、277・44mm

出典：広島県「河川改修マニュアル」

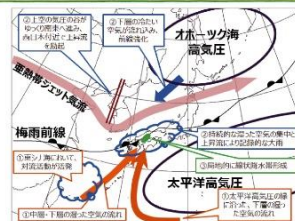
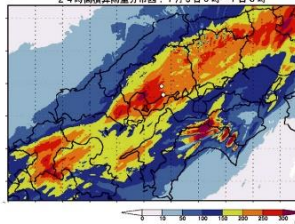


図4 7月5日から8日の記録的な大雨の気象集団のイメージ図
24時間積算雨量分布図：7月6日9時～7日9時



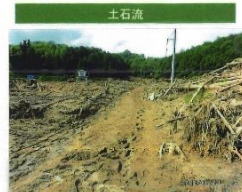
【東広島市における被災箇所の特徴・今後の課題】

今回の豪雨に起因して、東広島市内においては、死者12名、行方不明者1名のほか、市内全域で家屋などに甚大な被害が発生した（7月27日激甚災害指定）。これらは、「土石流」によるものや、小規模なものを含め「河川」の氾濫が多い。今後の課題として、未整備箇所や被災箇所を含む「砂防堰堤、治山堰堤」による治水・治山対策、市内で4,000箇所を超える「ため池」の堤体の老朽化対策等が考えられる。

被害等の状況（9月21日）

地区	西条	八本松	志和	高屋	黒瀬	福富	豊栄	河内	安芸津	計
人	8	1	3	1	5	1	0	5	12	36
（死亡）	5			1	1			3	2	12
（重傷）	1				1	1			2	7
（軽傷）	2	1	1		3			2	8	17
建物	66	86	59	67	204	14	38	76	365	975
その他（インフラ等）	344	195	547	598	408	150	90	492	631	3,455
計	418	282	609	666	617	165	128	573	1,008	4,466

土石流



気象予報等

7月6日（金）

02時41分 洪水警報解除、注意報に切替え
05時40分 大雨警報（土砂災害）に切替え
10時06分 洪水注意報から警報に切替え
17時50分 土砂災害警戒情報発令
19時40分 大雨特別警報に切替え

体制、避難情報等

09時00分 非常体制（非常）
17時30分 避難勧告（志和町志和、志和堀）
避難勧告（福富町竹仁）
避難勧告（安芸津町三津、風早、木谷）
避難準備・高齢者等避難開始
18時50分 避難勧告（市全域）
19時45分 避難指示（市全域）

自衛隊派遣要請

7月7日（土）

10時50分 大雨特別警報解除、警報に切替え
22時19分 洪水警報解除、注意報に切替え

自衛隊、緊急消防援助隊到着

平成30年（2018年）7月豪雨災害時 三永地域被災の状況



平成30年(2018年)7月豪雨災害 本頭川現地踏査の状況



平成30年(2018年)7月豪雨災害 大宮川現地踏査の状況



上三永1区内被災状況



大宮川土石流対策の為 吉光・大宮地区内に砂防ダム建設 完成 2021年



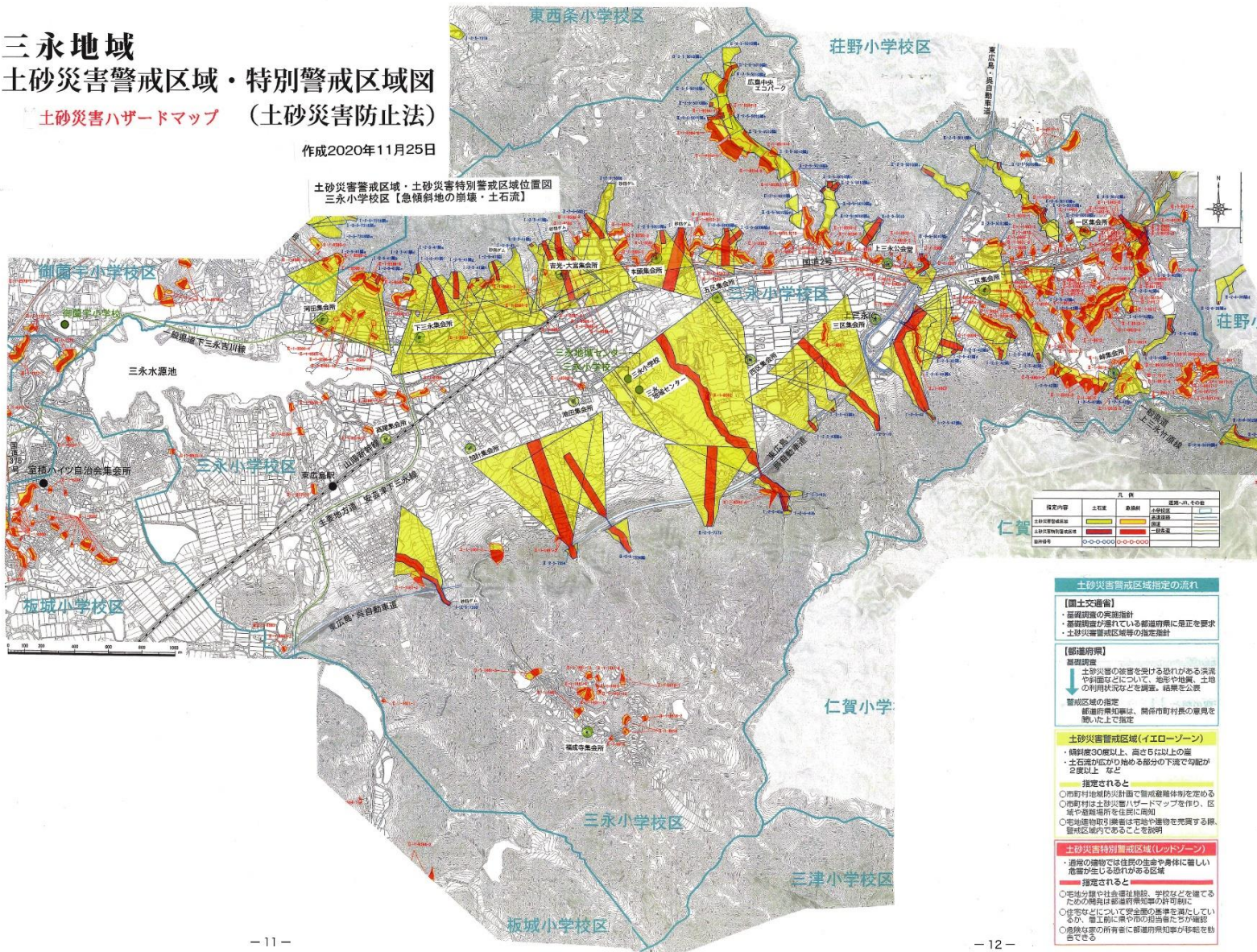
本頭川土石流対策の為 本頭地区内に砂防ダム建設 完成 2021年



三永地域 土砂災害警戒区域・特別警戒区域図 土砂災害ハザードマップ（土砂災害防止法）

作成2020年11月25日

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域位置図
三永小学校区【急傾斜地の崩壊・土石流】



土砂災害警戒区域指定の流れ			
【国土交通省】			
・基礎調査の実施指針			
・基礎調査が進んでいる都道府県に是正を要求			
・土砂災害警戒区域等の指定指針			
【都道府県】			
基礎調査	土砂災害の被害を受ける恐れがある河川や斜面などについて、地形や地質、土地の利用状況などを調査。結果を公表		
警戒区域の指定	都道府県は、関係市町村長の意見を聞いた上で指定		
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)			
・傾斜度30度以上、高さ5以上の崖			
・土石流の起こり始める部分の下流で勾配が2度以上 など			
指定されると			
○市町村地域防災計画で警戒避難体制を定める			
○市町村は土砂災害ハザードマップを作り、区域や避難場所を住民に周知			
○宅地建物取引業者は宅地や建物を売買する際、警戒区域内であることを説明			
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)			
・崖の崩壊では住居の生命や身体に著しい危害が生じる恐れがある区域			
指定されると			
○宅地分譲や社会福祉施設、学校などを建てるための開発は都道府県知事の許可が必要			
○住宅などについて安全度の基準を満たしているか、重工前に県や市の担当者たちが確認			
○危険な家の所有者に都道府県知事が移転を勧告できる			

西日本豪雨半年

昨年7月の西日本豪雨の発生から半年。身内を亡くした人の悲しみは計り知れない。仮設住宅や浸水した自宅の2階などで年を越さざるを得なかった被災者の苦痛もいかにかりか。一度とあの惨事を繰り返さないためには、ハード、ソフト両面での防災対策の徹底が必要だ。重視すべきことの第一は、仮に災害が起きても命だけは守るための早めの避難行動だろう。それは最終的には、住民一人一人の意識改革にかかっている。「わがこと」として考えてもらうことに尽きるはずだ。

分だと感じていた。うち6割強が不十分な理由として「住民の災害に備える意識が高まっていない」ことを挙げている。自治体の側が住民に対し、どのように働き掛けてきたか、問い返したい気はする。だが「意識が高まっている」といえない。理髪を放置していいはずはない。土砂災害で16人が犠牲になった

社説

2019・1・6

避難行動「わがこと」に

問題がある。逆に言なう、なぜ避難をしなかったか、その理由を突き詰めて次に生かすこともできる。西日本豪雨で浮かんだ課題を検証する広島市の有識者会議を傍聴する機会があったが、こうした問題が専ら議論されたという印象が強い。

避難訓練を行うことを提言している。近所同士の声の掛け合いが避難のきっかけになったケースもあり「声掛け」を訓練に取り入れることを促した。ちよつとした気遣いや気配りが、生死を分けることはあるはずだ。今後は避難所の住環境も重視すべきだろう。安眠を助ける段ボールベッドの導入や食事のメ

ニューの改善ながら、高齢者の体調を崩さないためにも欠かせない。一連の議論を受けて、自治体は共助を支える公助の役割を認識し、できることから早急に取り組んでほしい。教育現場で災害の歴史や、災害に備えることを学ぶことも、大切になってくる。広島県教委は、これまで地震や津波の占めるウェイトが高かった防災教育の手引を改め、土砂災害や洪水を軸に学ぶ内容にする。

近くを流れる豊川が氾濫した府中町の小学校では、児童たちが地元の危険箇所を調べて発表し、実家が被災した教員が家族の体験談を語った。土地の歴史を知る公民館のサークルと連携し、学びを深めてほしい。あの惨事を多くの人が記録に残して教訓の「ビッグデータ」を築き、これからに生かそう。

西日本(2018年7月)豪雨半年

(中国新聞2019年1月6日社説)

西日本(2018年7月)豪雨半年

避難行動「わがこと」に

・重視すべきことの第一は、仮に災害が起きても命だけは守るための早めの避難行動だろう。それは最終的には、住民一人一人の意識改革にかかっている。「わがこと」として考えてもらうことに尽きるはずだ。

まずは、あなたから。 避難行動をはじめてください。

どのタイミングで、何をするか。土砂災害から命を守る3つのポイント

ポイント1 「日常生活」では、自宅や実家などの危険性を知る。
いま一度、土砂災害のおそれのある区域かご確認ください。

●これで行く！
ハザードマップ
住んでいる市町でもうすぐ確認できます。

インターネット
広島県防災課のホームページ「土砂災害ポータルひろしま」ですぐ確認できます。

この2次元コードから確認できます。

土砂災害ポータルひろしま

●ここが大事！
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
この区域に公表、指定されているエリアは土砂災害のおそれがあります。前もって避難の準備をお願いします。

ポイント2 「雨の日」は、常に最新情報をチェックする。
NHKデータ放送で、土砂災害危険度情報の確認を。

短い時間で大量の雨が降ったとき、長い時間雨が降ったとき、土砂災害危険度情報を確認してください。

●これで行く！
NHK総合テレビの「d」ボタンで確認できます。

操作方法
① NHK総合テレビにチャンネルを合わせて、リモコンで「d」ボタン(データ放送)を押す。
② 「防災・生活情報」を選択。
③ 「土砂災害危険度情報」を選択。

テレビに登場された郵便番号をもとに、お住まいの地域の土砂災害危険度情報が表示されます。

NHK 広島放送局 4F 4616号

ポイント3 「避難時」は、声をかけあって行動する。まずは、あなたから。
早めの行動と協力で、危険から身を守ってください。

●ここが大事！
明るうちに避難
家族やご近所と声をかけあって避難
どうしても外に出られないときは、2階以上の崖から高い場所に避難

お問い合わせ先
■県民総ぐるみ運動に関すること：広島県危機管理監 減災対策推進担当 TEL 082-513-2781
■土砂災害に関すること：広島県土木建築局 砂防課・土砂災害指定推進担当 TEL 082-221-3764
令和元年10月発行

土砂災害防止法とは

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害(げき崩れ、土石流、地すべり)から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について危険の程度、警戒避難体制の整備、住宅地の開発立地の規制、居住者の移住促進等の7つの対策を推進しようとするものです。

基礎調査の実施
市町村が、土砂災害に危険を及ぼすおそれのある場所の地形や地質、土地利用状況などを調査します。

土砂災害警戒区域の指定
土砂災害特別警戒区域
(崖が崩壊され、住人に大きな被害が生じるおそれのある区域)

こんな場所が区域指定の対象となります。

- がけ崩れ
急傾斜地の崩壊によって土砂が流出する危険がある場所
- 土石流
山崩れが急流によって土砂が流出する危険がある場所
- 地滑り
土壌の一部分が斜面に移動する危険がある場所

覚えておきたい大切なポイント

ポイント1 危険が迫っていることを「察知する」

●何に注意すればいいの？
大雨が降ったとき、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所。

●雨の情報の調べ方
(1) テレビ・ラジオなどの放送情報
(2) インターネット
(3) 土砂災害ポータルひろしま

ポイント2 判断して、適切に「行動する」

●避難を急めよう
大雨が降ったとき、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所。

●どのように避難する？
急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所。

●いざというとき、あわてないように！
急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所、急な斜面で土砂が流出する危険がある場所。

土砂災害から命を守るため、

ポイント1 土砂災害を「知る」

●広島県は土砂災害警戒区域が全国で最も多い県です。
●土砂災害とは・・・
●土砂災害はどのような危険があるのか？

ポイント2 自分が住む地域の危険性を「知る」

●どこが危険なの？
●土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の範囲

ポイント3 危険を知らせる情報を「知る」

●危険が迫っていることを「察知する」
●雨の情報の調べ方

「土砂災害ポータルひろしま」を利用しましょう！

今すぐ検索！
土砂災害ポータルひろしま

「土砂災害ポータルひろしま」で調べられること
【知る編】
●自分(や知り合いなど)の住まいが土砂災害のおそれのある場所にあるかどうか
●現在、大雨注意報、警報、特別警戒区域の市町村
●現在、土砂災害警戒区域が発生している市町村
●現在の土砂災害発生危険度(土砂災害危険度情報)
●現在の雨量(レーダー雨量)など

「土砂災害ポータルひろしま」で調べられること
【察知する編】
●現在、大雨注意報、警報、特別警戒区域の市町村
●現在、土砂災害警戒区域が発生している市町村
●現在の土砂災害発生危険度(土砂災害危険度情報)
●現在の雨量(レーダー雨量)など

「ひろしまマイ・タイムライン」

災害から命を守るために！
みんなでつくろう！

マイ・タイムラインはいざという時に
慌てず確実に避難するための、
自らの防災行動計画です。

避難するタイミングは？
ハザードマップの見方は？
わが家に必要な非常時
持ち出しグッズは？
どこに避難する？
避難情報などの入手先は？
地域の誰に避難を呼びかける？
etc.

マイ・タイムラインのつくり方だけでなく、広島県で起こりやすい
風水害の特徴や、過去の災害などを解説している
ガイドブックがあります。

Webでも
ひろしまマイ・タイムラインの
作成ができます。

デジタル版 ひろしまマイ・タイムライン

みんなで防災！
「防災ガイド」を参照して
「防災ガイド」を参照して
「防災ガイド」を参照して

ひろしまマイ・タイムラインの
作成はコチラから

防災 はじめの一歩 マイ・タイムライン

広島県 広島県 危機管理監 みんなで減災推進課 TEL: 082-513-2781 kikigensai@pref.hiroshima.lg.jp

必要な情報

情報の種類	主な入手先	二次元コード	お住まいの地域で必要な情報
避難情報	お住まいの市町のホームページや 防災無線の放送などを確認 ①「広島県防災 Web」を検索	①	台風のとき 大雨のとき 豪雨のとき
気象情報	②「気象庁 警報・注意報」を検索 ③「気象庁 気象情報」を検索 ④「広島県防災 Web」を検索	② ③ ④	
台風（高潮・暴風） に関する気象情報	⑤「気象庁 台風情報」を検索 ⑥「高潮・津波災害ポータルひろしま」を検索	⑤ ⑥	
土砂災害 に関する気象情報	⑦「気象庁 土砂災害警戒情報」を検索 ⑧「広島県土砂災害危険度情報」を検索 ※土砂災害ポータルひろしま ⑨「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を検索 ⑩「NHK のデータ放送」を検索 ⑪「Yahoo アプリ」	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	
河川の氾濫 に関する情報	⑫「国土交通省 川の防災情報」を検索 ⑬「広島県河川防災情報システム」を検索 ⑭「洪水警報・大雨警報（浸水害）の危険度分布」を検索	⑫ ⑬ ⑭	

気象情報 広島県防災 Web 土砂災害ポータルひろしま 土砂災害警戒判定メッシュ情報 広島県河川防災情報システム 高潮・津波災害ポータルひろしま

台風が近づいているとき！

3～5日前

作成ポイント

警戒レベル 1 2 3 4 5

避難情報 避難に関する情報 自主避難など
注意の呼びかけ 避難準備・
高齢者等避難開始 避難勧告 避難指示
(緊急) 災害
発生
情報

防災気象情報 大雨に関する気象情報 大雨・洪水注意報 大雨・洪水警報 大雨特別警報
大雨に関する気象情報 暴風に関する気象情報 暴風注意報 暴風警報 暴風特別警報

必要な
情報

お住まいの地域によって必要となる情報

高潮に関する気象情報 高潮注意報 高潮警報 高潮特別警報

河川の氾濫に関する気象情報 氾濫注意報 氾濫警戒情報 氾濫危険情報 氾濫発生情報

土砂災害に関する気象情報 土砂災害警戒情報 土砂災害警戒情報 土砂災害警戒情報

私と
家族
地域

災害発生

チェックリスト実施のための お役立ち情報

ポータルサイト『広島県「みんなで減災」はじめの一歩』から、必要な情報が確認できます。

減災 はじめの一歩

検索



① 行動目標「知る」をクリック

【確認できる情報】 ⇒ 県内市町のハザードマップ
※インターネットが使えない場合は、市町から入手する
などし、最新情報の確認を！

a 広島県防災Web をクリック



【確認できる情報】
画面上の、下記 ☐ をクリックすると

- 土砂災害ポータル ⇒ 「土砂災害危険箇所」や「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」など
- 洪水ポータル ⇒ 「洪水浸水想定区域」など
- 高潮・津波災害ポータル ⇒ 「高潮浸水想定図」や「津波浸水想定図」など

b 避難所・避難場所検索 をクリック



【確認できる情報】
⇒ お住まいの地域の周辺や、現在地から半径3 km以内（スマホ）の、災害種別ごとの避難所・避難場所

⑤ 行動目標「備える」をクリック

【確認できる情報】
⇒ 防災グッズ（非常持出品や備蓄品）の種類
⇒ 耐震化相談窓口、家具転倒防止等の方法 など



③ 行動目標「行動する」をクリック

【確認できる情報】
⇒ 災害時の避難行動の種類や、その事例

④ 行動目標「学ぶ」をクリック

【確認できる情報】
⇒ 災害事例や学習素材（映像資料）など

各地区の防災イベント
情報をクリック



【確認できる情報】
⇒ 各地域の主な防災訓練や、防災教室等の予定

② 行動目標「察知する」をクリック

【確認できる情報】
⇒ 災害の特徴、防災情報の種類や意味とその入手方法

c 広島県防災情報メール通知サービス をクリック



【配信される情報】
⇒ 土砂災害発生の危険性が高まったことや、河川が氾濫危険水位に達したこと、また、市町から避難勧告等が発令されたことなど、自然災害から命を守るために欠かせない情報を、リアルタイムで配信

(PC・スマートフォン)



(携帯電話)



※ メールが利用できない場合は、市町の防災行政無線や、テレビ（dボタン）・ラジオなどから情報入手しましょう。

d 5分でチェック我が家の防災対策 をクリック



【確認できる情報】
⇒ 全行動目標のポイントの解説

自然災害から身を守るための「我が家の防災チェックリスト」

- ◇ 日頃から県行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
- ◇ 広島県では、平成27年度から、「災害死ゼロ」を目指す、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を展開しています。
- ◇ このチェックリストを用いて、いつ、どこで起こるかわからない自然災害から命を守るための行動をとっていただくことができるよう、御家族の皆さんで、「5つの行動目標」を確認し、チェック欄を埋めていきましょう。
- ◇ 詳しくは、裏面の「お役立ち情報」を御参照ください。

令和元年5月

広島県危機管理監 みんなで減災推進課

実施日 年 月 日

実施者

(※□内に✓を入れてみましょう)

行動目標	確認内容	チェック欄
知る	◆ 御自宅周辺で発生することが想定されている、災害の種類（土砂災害、洪水、高潮、津波、地震）と、災害危険箇所を確認していますか？	避難場所を（ ）に記載してください。 (危険性がない場合は“—”)
	土砂災害の危険性が □ある □なし	土砂災害 ()
	洪水による浸水の危険性が □ある □なし	洪水 ()
	高潮による浸水の危険性が □ある □なし	高潮 ()
知る	津波による浸水の危険性が □ある □なし	津波 ()
	(御自宅は)地震による家屋倒壊等の危険性が □ある □なし	地震 ()
	◆ 避難場所への“安全な”避難経路を確認していますか？	□ 実際に歩いて確認している
	☞ 確認する際のポイント ・ 大雨が降ると、道路との境目が分からなくなるような小川や側溝がないか ・ 倒れやすいブロック塀はないか など	□ 地図上で確認している □ 確認していなかったが、確認した

行動目標	確認内容	チェック欄
察知する	◆ 県又は市町の「防災情報メール通知サービス※」に登録していますか？ ※ 事前にアドレスを登録したパソコン、携帯電話、スマホ等に、災害発生の危険性等を通知するサービス（登録無料）のこと	登録している（登録した）防災メール等にチェックしてください。 □ 市町防災情報メール □ 県防災情報メール □ 民間事業者運営の防災速報アプリ
	◆ あなたの身の回りで、防災教室・防災訓練が行われていますか？ ・ 地域で行われて □いる □いない □知らない ・ 職場で行われて □いる □いない □知らない	過去1年のうちで参加した防災教室・防災訓練にチェックしてください。 □ 地域で参加 □ 職場で参加
備える	◆ 広島県では、梅雨入り前と秋に県下一斉に防災教室・訓練を実施しています。参加されていますか？	□ いずれか一方、若しくは、双方に参加した。
	◆ 備蓄品・非常持出品を準備していますか？ (飲料水及び食料は、3日分以上) ～備蓄品・非常持出品(例)～ ・ 飲料水 ・ 食料 ・ 常備薬 ・ 懐中電灯 ・ ラジオ ・ マッチ又はライター、ローソク ・ 救急箱 ・ 下着 ・ 靴下 ・ 衣類 ・ 予備の電池 ・ 携帯充電器 ・ 軍手 ・ ポリ袋 ・ ヘルメット ・ ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、タオル ・ 保険証 ・ 貴重品（現金・通帳・印鑑・権利証等） ・ 乳幼児、高齢者や女性など、個別に検討が必要な品目	準備しているものにチェックしてください。 □ 飲料水 □ 食料 □ 常備薬、□ 懐中電灯、 □ ラジオ、 □ マッチ又はライター、 ローソク □ その他 ()
知る	◆ 地震に備え、家具等の転倒防止対策を行っていますか？ その他、負傷防止につながる、食器棚へのロック器具の取り付け、ガラス面への飛散防止フィルム貼付け等を行っていますか？	□ 固定している。 □ 配置を工夫している。 (寝室等に家具を設置しないなど) □ その他 ()

避難場所などは、見直しが行われる場合もあります。
定期的に最新情報を確認しましょう。

お問合せ先
〒730-8511 広島市中区基町 10-52
広島県危機管理監 みんなで減災推進課
TEL 082-513-2781 FAX 082-227-2122
E-mail kikigensai@pref.hiroshima.lg.jp



広島県防災キャラクター
「タスケ三兄弟」

地震について

日頃から地震に備える

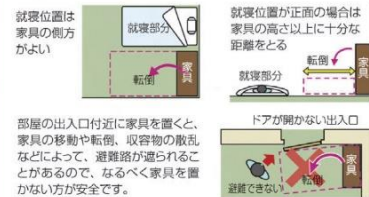
家具などを固定しましょう

- 家具は固定し、上には重いものや危険なもの（ガラスケース等）を置かないようにしましょう。
- タンスなど背の高い家具はL型金具や突っぱり棒で固定したり、ストッパー式器具、転倒防止マットを使用しましょう。



家具の配置にも工夫を

- 室内の家具が大きな揺れで転倒した場合に、大けがをしたり、部屋に閉じ込められたりしないように、家具の置き場所を工夫する。



地震発生!そのときどうする?

揺れがおさまるまで身の安全を確保!

立ってられないような大きな揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠します。座布団などが身元にあれば、頭を保護しましょう。



火災発生!そのときどうする?

小さな火災でも一人で消そうとせず、周囲の人や消防署に知らせましょう。初期消火で火が消えなかった場合、すばやく避難をしましょう。

①早く知らせる

- 「火事だ!」と大声で周囲の人に知らせ、救助を求める。声が出なければ、鍋などをたたいて異変を知らせましょう。
- 小さな火災でも速やかに消防署に119番通報しましょう。



②早く消火する

- 火の小さい初期段階ならば、自分たちの手で消火、周囲の人と協力して消火しましょう。
- 毛布などで火の勢いをおさえ、そこへ水をかけるようにしましょう。
- 備えてある消火器のほかにも風呂の残り湯など利用できるものは全て利用しましょう。



③早く逃げる

- 天井に火が燃え移ったらもう危険です。服装や持ち物にこだわらず、身の安全のためすばやく避難しましょう。
- 避難する場合、少しでも延焼を抑えるため、燃えている部屋の窓やドアを開けましょう。
- いったん逃げ出したら、再び家の中には戻らないようにしましょう。
- 避難は避難行動要支援者が最優先、避難行動要支援者の避難の手助けをしましょう。
- 煙の中では姿勢を低くし、床をはうように避難しましょう。ぬれたタオルで口をふさいで煙を避けましょう。
- マンションなどでは、エレベーターを使わず、避難階段を使って逃げましょう。
- いったん逃げ出したら、再び火災の中には戻らないようにしましょう。

揺れがおさまったら

- 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- 互や看板、ガラスなどが上から落ちてくるおそれがあるため、あわてて外に出ない。
- 地震でゆがみ、開かなくなることがあるため、ドアや窓を開けて、出口を確保。
- 家族の安全を確認。災害用伝言ダイヤルサービス等を利用して連絡を取る。
- テレビ・ラジオなどで正確な情報を集め、避難のタイミングを図る。

火災を防ぐ6つのポイント

火災のほとんどは人災です。大切なことは、日頃の備えや火の用心を習慣づけることです。自分のいつもの行動やくせが火災の原因とならないようにしましょう。

- ①家の周囲に燃えやすいものを置かない。
- ②ストーブの近くに燃えやすいものは置かない。
- ③揚げ物を作るときは、その場を離れない。
- ④電気器具は正しく使い、たこ足配線しない。
- ⑤寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ⑥子どもには、マッチやライターで遊ばせない。

消火器の使い方

- ①安全栓を引き抜く
- ②ホースを火元に向ける
- ③レバーを握り、火元に噴射する



地震防災マップの活用方法

揺れやすさマップとは

地震による地表での揺れの強さは、主に、「地震の規模(マグニチュード)」、「震源からの距離」、「表層の地盤」の3つの条件によって異なります。一般的には、マグニチュードの値が大きければ大きいほど、震源に近ければ近いほど、地震による揺れは大きくなると考えられます。また、マグニチュードや震源からの距離が同じであっても、表層地盤の違いによって揺れの強さは大きく異なり、表層の地盤がやわらかな場所では、かたい場所に比べて揺れは大きくなります。これらの3つの条件から、地表面における揺れの強さを推定し、地図上に表したものを「揺れやすさマップ」と呼びます。

「南海トラフ巨大地震」と「既に明らかとなっている断層等を震源とする安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震」と「市役所直下を震源とする地震(どこでも起こりうる直下の地震)」の各想定地震を地図で表示しています。

揺れやすさマップの使い方

①自宅の位置を確認

②指定避難所を確認



震度階級と揺れ等の状況(概要)



3【震度3】

- 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。



4【震度4】

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。



5弱【震度5弱】

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



5強【震度5強】

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6弱【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



6強【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや傾斜地の崩壊が発生することがある。

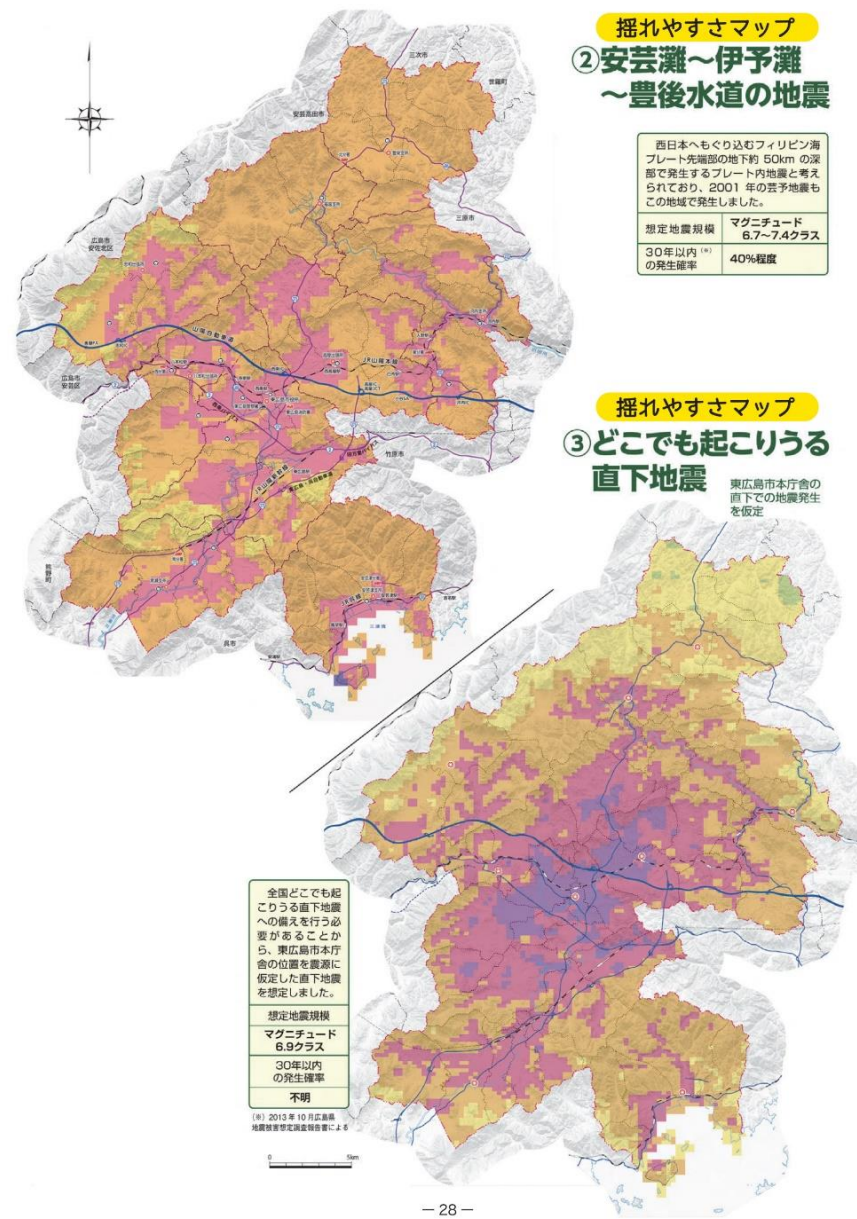
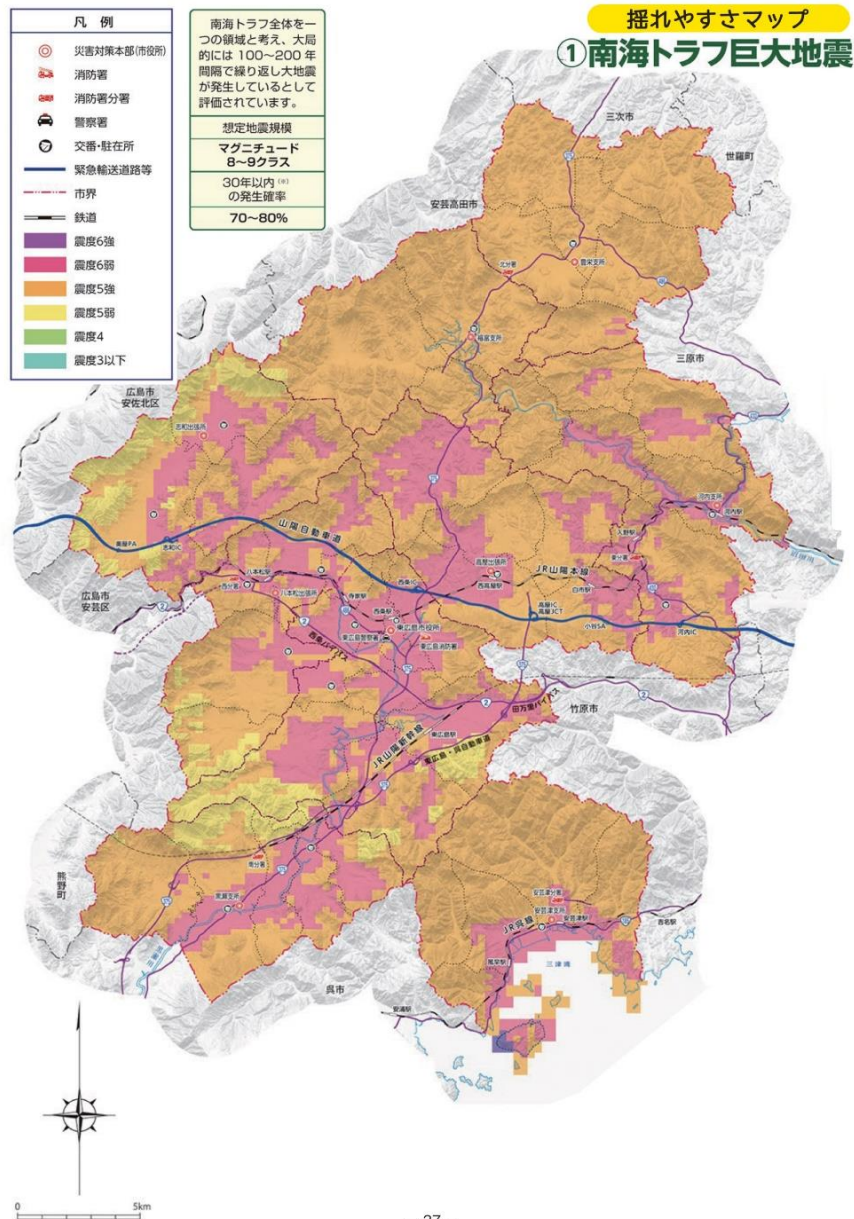


7【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。



※気象庁発表の震度階級の解説による



過去の地震発生状況

① 阪神淡路大震災

地震種類 直下型

- ①発生日時 1995年(平成7年)1月17日5時46分
- ②地震規模 マグニチュード7.3 最大震度 震度7
- ③被災状況 死者6,434人 行方不明者3人 負傷者43,792人
住宅全壊 104,906棟 住宅半壊 144,274棟

② 鳥取県西部地震

地震種類 直下型(横ずれ断層型)

- ①発生日時 2000年(平成12年)10月6日13時30分
- ②地震規模 マグニチュード7.3 最大震度 震度6強(境港市・日野町)
- ③被災状況 死者0人 負傷者182人 (余震1,316回)
住宅全壊 435棟 住宅半壊 3,101棟

③ 芸予地震

地震種類 スラブ内地震

- ①発生日時 2001年(平成13年)3月24日15時28分
- ②地震規模 マグニチュード6.7 最大震度 震度6弱(河内町・熊野町)
- ③被災状況 死者2人 負傷者288人
住宅全壊 70棟 住宅半壊 774棟

④ 東日本大震災

- ①発生日時 2011年(平成23年)3月11日14時46分
- ②地震規模 マグニチュード9.0 最大震度 震度7
- ③被災状況 死者・行方不明者 18,641人 負傷者6,114人
住宅全壊 129,600棟 住宅半壊 26,634棟

⑤ 熊本地震

前震

- ①発生日時 2016年(平成28年)4月14日21時26分
- ②地震規模 マグニチュード6.5 最大震度 震度7

本震

- ①発生日時 2016年(平成28年)4月16日1時25分
- ②地震規模 マグニチュード7.3 最大震度 震度7
- 前震・本震被害状況 死者・行方不明者 死者252人 負傷者2720人
住宅全壊 8,665棟 住宅半壊 34,392棟

⑥ 鳥取県中部地震

地震種類 横ずれ断層型

- ①発生日時 2016年(平成28年)10月21日14時07分
- ②地震規模 マグニチュード6.6 最大震度 震度6弱
- ③被災状況 死者0人 負傷者32人
住宅全壊18人 住宅半壊312棟

我が家の防災メモ